

3. コンポスト工場

【所在地】 CIUDIN 地区

【訪問日】 2006年3月9日（木）午前

【面会者】 PANG（副社長）

3-1. コンポスト工場の概要

- ① 管理部門 30人・作業員 70人で、4 ha の敷地を有する。
- ② 処理能力は 60,000t/年、生産能力は 15,000t/年である。
- ③ 搬入ごみ量は、ハノイ市一般廃棄物の約 10%で、日量 210 t である。
- ④ コンポストの需要が多く、三交代制で 20%増産している。
- ⑤ 沿革は次の通りである。
 - ・ 第 1 段階（1992~1998）
UNDP の援助で建設された。約 7,000 t /年の生産量で、試験的創業期間。
 - ・ 第 2 段階（1999~2001）
スペインからの ODA で敷地拡大し技術向上を実施し、現在の規模になる。
 - ・ 第 3 段階（2002~）
新体制での創業開始。現在に続く。
- ⑥ 工程は次の通りである。
 - ・ 一廃ごみをブルドーザーにて、ホッパへ投入。
 - ・ トロンメル、磁選機等の機械選別と手選別後に、菌を添加し簡易建屋内にて攪拌及び空気吹き込みしながら、3 週間かけて 1 次発酵させる。
 - ・ 1 次発酵には次の 4 段階がある。
 - （1）第 1 発酵段階：55~60℃にして障害菌を滅菌する。水分は 50~60%に維持する。
 - （2）第 2 発酵段階：43~48℃にして有用菌を添加する。
 - （3）第 3 発酵段階：40~45℃にして有用菌を添加する。
 - （4）第 4 発酵段階：38~40℃にして有用菌を添加する。（以上 3 週間）
 - ・ 2 次発酵は
 - （5）熟成段階：30℃以下で、水分 25~28%に維持する。（15~18 日間）

3-2. Q & A

Q 1. コンポストの売却価格は？

A 1. 生で 600 ドン/kg、有効成分添加で 1,000~2,000 ドン/kgである。（50 kg 袋詰め）

また、2 kg で一般向けに店頭販売しているが、卸値 2,500 ドン・小売値 5,000~6,000 ドンである。

Q 2. 今後の URENCO 本社との関係は？

A 2. 今年から、本社よりごみを購入し、コンポストを本社へ売却する独立採算制を導入予定である。（ごみ収集も工場が行う）

これには、市場経済に慣れる目的もある。

Q3. 政府からの資金援助はあるのか？

A3. コンポストで利益を出しているため、援助は受けられない。従って、URENCO
本社からの独立はありえない。



PANG 副社長から説明を受ける



処理前の一般廃棄物



受入れヤード



袋詰めされたコンポスト